

ツル多はげます会 春の例会

「新春の有多毛」が開催されました

2月22日（金）、山田温泉大広間において、特定非営利活動法人ツル多はげます会（須郷貞次郎会長）の春の例会「新春の有多毛」が開催されました。毎回多くの報道陣が取材に訪れており、今回は中国からも報道陣が駆けつけ、注目度の高さが伺えました。



平和の光当てクイズ

月の部分に穴を開けた月見の絵から、3人の会員が頭を出して、誰の頭かを当てる「平和の光当てクイズ」。当日春の例会を訪れた外国人も参加し、見事に3人の頭を見分けることに成功していました。3人全員当てた人はプレゼントがもらえるため、見分けるのが難しいなか、参加者は一生懸命特徴などを覚えていました。



ハゲ人形の贈呈

今年の春の例会では、八戸市の障害者サポートセンターくるみの里（高橋陽子施設長）から、ハゲ人形が贈呈されました。くるみの里では利用者が南部めご人形を制作しており、昨年秋に須郷会長から「これでハゲ人形が作れますか」と話しかけたそうです。高橋会長は「はげます会の活動に携わることができて利用者も喜んでいきます」と話していました。



吸盤綱引きトーナメント

今ではすっかり定番となり、東京など県外でも披露している吸盤綱引き。今回は18人の会員が参加し、自慢の頭でハゲしい戦いを繰り広げました。

秋の例会「中秋の有多毛」で優勝した藤田哲也さんが今回も優勝し、例会2連覇を達成し、喜びを爆発させていました。



ハゲピタダーツ

3人の会員が的になり、参加者が頭めがけて冷却シートを投げて、頭にピタッと貼り付けられるかを競う「ハゲピタダーツ」。会員は、近距離、中距離、遠距離とそれぞれ距離が違う場所に座り、参加者は距離の違う3人の頭に貼り付けようと苦戦しながら楽しんでいました。



藤田 哲也さん

応援を力に変えて優勝することができました

今回吸盤綱引き2連覇を達成することができて、本当に嬉しいです。今も吸盤綱引きのコツは分かりませんが、3連覇目指して次回も頑張りたいです。

今回は、SNSを通して、天然的に髪の毛が無い人や髪の毛が無くなった女性などからたくさんの応援をもらいました。出来れば目の前で優勝を見せたかったですが、遠くからの応援を力に変えて優勝することができました。少しでも応援してくれた人の励みになればいいなと思います。

これからも会のモットー通り、世の中を明るく照らしていきたいです。